

38 計算工学専攻 学習課程

高度に発達した情報化社会において、計算機システムはあらゆる分野の根幹かつ不可欠な要素となっている。またその処理形態のより一層の多様化と効率化、そして高信頼化が要求されると同時に、人間と能率良く意図伝達を行うためのインターフェースを実現し、知的で高度な情報処理機能を備えることが必要となる。このようなシステムを研究・開発してゆくためには、計算の概念に帰着される情報処理の原理、計算機ハードウェア、計算機ソフトウェア、計算環境、そして推論、学習、認知等、人間の持つ知的能力を計算機に付与する人工知能と、認知工学の学問分野を包括した「計算工学」に関する高度な知識が必要である。本専攻の学習課程は、計算工学に関する基盤的な知識から先端的な知識に至る広範な知識を体系的に学習し、先端技術の発展の中核となって先導的役割をはたす研究者、技術者、行政官に必要な様々な能力を見につけるために工夫されている。

【修士課程】

人材養成の目的

高度情報化社会において必要不可欠な社会基盤であるコンピュータ・システムに関して、システム・アーキテクチャから応用ソフトウェアまでの幅広い専門知識を基礎理論と実践力の両面から修得し、その知識を総合的に駆使して社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

学習目標

本課程では、上記の目的のために、次のような能力を修得することを目指す。

- 計算工学に関する深い専門知識と論理的思考能力
- 問題の本質を見抜き、柔軟な発想で問題解決をする能力
- 社会に役立つシステムを構築するための幅広く豊かな教養と倫理観
- 国際的な共同研究・開発をするために必要なコミュニケーション能力

学習内容

本課程では、上記の能力が修得できるように、履修科目が以下の6つに分類されている。これらをバランスよく組み合わせられたカリキュラムに沿って学習する。

A) 基盤的科目：

計算工学の専門的基礎知識を教授する。各講義は計算工学専攻の各学問分野において必要となる基礎的な事柄について知識単位が整理されている。履修に当たっては、各自の希望分野を考慮しつつも、あまり特定の分野にかたよらず、バランスのとれた総合力を養成することを目的に、科目を選択することが望ましい。

B) 先端的科目：

基礎的科目を基礎として、より専門的あるいは応用的、横断的な科目が用意されている。各自の希望分野を考慮して、より専門性の高い講義を履修すると同時に、知識の幅を広げることに留意して修得されたい。

C) 学際的科目：

計算工学の先端的知識、関連領域との学際的知識を学習するための科目が用意されているので活用されたい。

D) 推奨科目：

他専攻の科目であるが、自専攻の科目に関連したより広い、あるいはより深い知識を養成するための科目である。理学、工学にまたがる横断的能力、各種の適応領域特有の知識を身につけるよう活用されたい。

E) 演習・実験・講究・インターンシップ科目：

学位論文テーマに関連する課題に関する実験、演習、輪講や学外機関にてインターンシップを行う。

F) 修士論文研究:講義で学んだ専門知識を基礎として修士論文をまとめることを通して問題解決を実践する。

修了要件

本課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 以下の要件を満たし、計 30 単位以上を大学院授業科目から取得していること。
 - 講究科目を 4 単位、研究関連科目を 4 単位取得していること
 - 専攻専門科目を表3～表6の三つ以上の表にまたがって合計 16 単位以上取得していること
 - 大学院教養・共通科目群の授業科目より 2 単位以上取得していること
2. 修士論文審査および最終試験に合格すること。

授業科目

表1に本専攻における授業科目分類と修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目分類ごと、また科目群ごとに指定され、また対応科目欄には科目選択にあたっての注記がある。右端の欄には科目と関連する学習内容を示す。学習申告にあたっては、科目と学習内容の関係を十分理解し、意識すること。

表2は本専攻の修士課程における研究科目群の授業科目を示す。表3～表9は、本専攻が指定する専攻科目群を示し、「専攻専門科目（表3～表8）」と「他専門科目（表9）」を示している。特に表3～表6は、本専攻の4つの専門分野の科目を分類したものである。専攻専門科目の履修にあたっては、これらの4分野から3分野にまたがって単位を取得するよう注意されたい。これらの4分野の科目の関係を付図1に示す。表10は本専攻が指定する大学院教養・共通科目群を示す。

表1 計算工学専攻授業科目分類および修了に必要な単位数

授業科目	単位数	対応科目	学習内容との関連
研究科目群	8 単位		
講究科目	・ 4 単位	表2の講究科目	E)
研究関連科目	・ 4 単位	表2の研究関連科目より選択	E)
専門科目群	16 単位以上		
専攻専門科目	・ 16 単位以上	表3～表6の三つ以上の表にまたがって履修すること。ただし、IT 特別教育研究コースを履修し、修了した者は除く。	A), B), C)
他専門科目		表9の他専門科目より選択	D)
大学院教養・共通科目群	2 単位以上		
大学院国際コミュニケーション科目 大学院総合科目 大学院広域科目 大学院文明科目 大学院キャリア科目 大学院留学生科目	・ 2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> ・左記分類科目のいずれかから選択(表10を参照) ・※印を付された専攻専門科目の授業科目の単位を大学院教養・共通科目群の授業科目として振替できる。(注1) ・大学院留学生科目は、外国人留学生のみ履修可 	D)
総単位数	30 単位以上	上記科目群及びその他の大学院授業科目から履修	

(注1) ※印を付された専攻専門科目の授業科目の単位を振替えた場合、専攻専門科目の単位としては認められないので留意すること。

表2 計算工学専攻 研究科目群

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
講 究 科 目	76701	◎	計算工学講究第一	0-1-0	前	E)	修士課程(1)
	76702	◎	計算工学講究第二	0-1-0	後	E)	修士課程(1)
	76703	◎	計算工学講究第三	0-1-0	前	E)	修士課程(2)
	76704	◎	計算工学講究第四	0-1-0	後	E)	修士課程(2)
連 研 究 目 関	76711	○	計算工学特別実験第一	0-0-2	前	E)	修士課程(1)
	76712	○	計算工学特別実験第二	0-0-2	後	E)	修士課程(1)

表3 計算工学専攻 専門科目群 (計算機システム)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
専 攻 専 門 科 目	76001		計算機アーキテクチャ特論	2-0-0	後	A)	
	76005		フォールトトレラントシステム論	2-0-0	後	A)	
	76010	★	Advanced Operating Systems	2-0-0	後	A)	
	76015	★	Distributed Algorithms	2-0-0	後	B)	
	76019	★	Advanced Coding Theory 符号理論特論	2-0-0	前	B)	O:英語開講 E:日本語開講
	76029	★	Advanced Data Engineering	2-0-0	後	B)	
	76049		データストリーム処理特論	2-0-0	後	B)	

表4 計算工学専攻 専門科目群 (ソフトウェア)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
専 攻 専 門 科 目	76003		プログラム理論	2-0-0	前	A)	
	76006	★	Concurrent System Theory	2-0-0	前	A)	
	76037	◇	システム検証基礎演習	0-2-0	後	A)	修士課程(1)推奨
	76035	◇	システム開発プロジェクト基礎	0-0-2	前	A)	
	76007	★	Software Design Methodology ソフトウェア設計論	2-0-0	後	A)	E:英語開講 O:日本語開講
	76016	★	Logic and Software ソフトウェア論理学	2-0-0	前	B)	O:英語開講(別クラスで開講) O:日本語開講 E:日本語開講
	76024		ソフトウェア工学特論	2-0-0	前	B)	
	76044	◇	ソフトウェア開発演習	0-2-0	前	B)	修士課程(1)推奨
	76031		情報セキュリティ特論	2-0-0	後	B)	
	76038	◇	ソフトウェアプロジェクトマネジメントと品質管理	2-0-0	後	B)	
	76036	◇	システム開発プロジェクト・クラウド応用	0-0-2	後	B)	
	76050	◇	ソフトウェアテスト演習	0-2-0	後	B)	
	76054	◇	ソフトウェア開発先端技術演習 I	0-2-0	前	B)	O
	76055	◇	ソフトウェア開発先端技術演習 II	0-2-0	前	B)	E
76058	◇	クラウドアプリケーション開発演習	1-1-0	前	B)		

表5 計算工学専攻 専門科目群 (人工知能)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
専攻専門科目	76004		情報の組織化と検索	2-0-0	後	A)	
	76012		自然言語処理特論	2-0-0	後	A)	
	76043		バイオインフォマティクス	2-0-0	前	B)	
	76017	★	Machine Learning	2-0-0	後	B)	E
	76022		推論機構特論	2-0-0	後	B)	
	76053	★	Complex Networks	2-0-0	後	B)	O

表6 計算工学専攻 専門科目群 (認知工学)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
専攻専門科目	76033	★	Advanced Data Analysis	2-0-0	前	A)	O
	76013	★	Pattern Information Processing	2-0-0	前	A)	E
	76009		マルチメディア情報処理論	2-0-0	後	A)	
	76018		コンピュータグラフィクス	2-0-0	前	B)	
	76025	★	Human Interfaces	2-0-0	前	B)	E
	76027	★	Speech Information Processing	2-0-0	前	B)	O

表7 計算工学専攻 専門科目群 (学際的科目)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
専攻専門科目	76047	※	IT 実践英語プレゼンテーション	2-0-0	前	C)	
	76052		形式システムバイオロジ	2-0-0	後	C)	

表8 計算工学専攻 専門科目群 (インターンシップ科目)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
専攻専門科目	76039		情報理工学インターンシップ 1A	0-0-1	前	E)	
	76040		情報理工学インターンシップ 2A	0-0-2	前	E)	
	76041		情報理工学インターンシップ 1B	0-0-1	後	E)	
	76042		情報理工学インターンシップ 2B	0-0-2	後	E)	

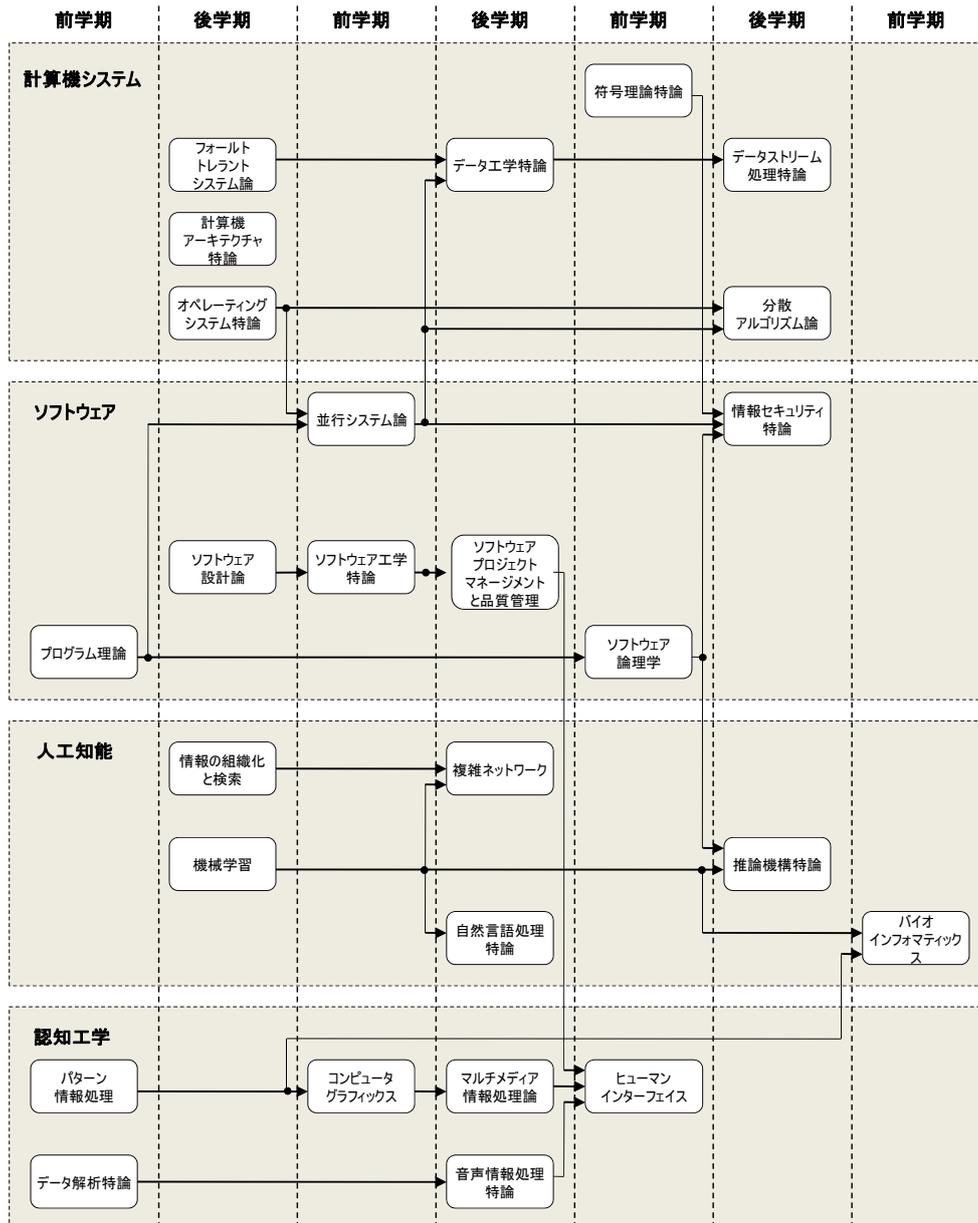
表9 計算工学専攻 専門科目群 (推奨科目)

分類	申告番号	区分	授業科目	単位数	学期	学習内容	備考
他専門科目	75102		インターネットインフラ特論	2-0-0	前	D)	
	75015		計算量理論	2-0-0	後	D)	
	75001		計算機支援数理	2-0-0	後	D)	
	75003		ハイパフォーマンスコンピューティング	2-0-0	後	D)	
	77016		広領域知識ベース特論	2-0-0	後	D)	
	75103		インターネット応用特論	2-0-0	後	D)	

- (注) 1) ◎, ○, 印を付してある授業科目は, 記してある履修年次に必ず履修しておかなければならない授業科目である。備考欄の(1), (2)などは履修年次を示す。
- 2) ◇印を付してある授業科目は, TI 特別教育研究コースの学生のための科目であり, プログラムを履修していない学生は受講できない。
- 3) 一部の授業科目は隔年講義となっており, 備考欄中の E は西暦年の偶数年度に, 同じく O は奇数年度に開講するもので, 何も書いていないものは毎年開講の授業科目である。
- 4) 年度によって英語開講と日本語開講を交互に行う科目がある。これらの科目については, どちらも同じ授業科目とみなすので, 両方の単位を修得することはできない。
- 5) ★印を付している授業科目は, 国際大学院プログラムに対応する科目である。

表 10 計算工学専攻 大学院教養・共通科目群

分類 ・ 授 業 科 目	学習内容	備 考
大学院国際コミュニケーション科目	D)	<ul style="list-style-type: none"> ・左記各研究科共通科目より選択 ・大学院留学生科目は, 外国人留学生に限り履修可能とする。
大学院総合科目	D)	
大学院広域科目	D)	
大学院文明科目	D)	
大学院キャリア科目	D)	
大学院留学生科目	D)	



計算工学専攻専門授業科目関連図

付図1 計算工学専攻の専門分野科目の関連図

修士論文研究

修士論文研究では、一連の研究プロセスを体験し、問題設定能力、問題解決力やコミュニケーション力の向上を目指す。学期毎の標準的な修士論文研究の流れは以下のようになる。

- 1 学期: 修士論文研究のオリエンテーションと学修目標の設定
- 2 学期: 研究計画の立案
- 3 学期: 中間発表
- 4 学期: 学修成果評価, 学位申請, 論文提出・発表

2 年間を通して、定期的に研究の進捗発表をおこない、中間的な評価およびプレゼンテーションの技術を身に付ける。また、3 学期におこなう中間発表は、専攻全体で開催し、幅広い専門分野の発表を聞く機会とともに、他分野の聴衆に対して自分の研究をプレゼンテーションする機会を設ける。

【博士後期課程】

人材養成の目的

高度情報化社会において必要不可欠な社会基盤であるコンピュータ・システムに関して、システム・アーキテクチャから応用ソフトウェアまでの幅広い専門知識を「計算」という概念を軸に総合的に修得し、その知識を駆使して様々な問題に対する問題解決能力、企画力、指導力を兼ね備えた人材の養成を目的としている

学習目標

本課程では、修士課程で求めた修得すべき能力に加え以下のような能力を博士後期課程で修得する。

- 計算工学に関する幅広く深い専門知識を元に自ら新しい学問分野を切り開く能力
- 自ら新しい問題を発見する能力
- 技術的観点に加え、広く社会的観点からも自らの専門分野の状況を客観的に評価できる能力
- 国際的な共同研究・開発をするために必要な強いリーダーシップ

学習内容

本課程では、上記の能力を身につけるため、以下のような内容に沿って学習する。

- A) 修士課程で取得した講義科目の単位に加え、博士後期課程においてもさらに専攻専門科目を履修することにより、自分の専門分野に知識が偏重することを防ぎ、学際的な幅広い知識・教養を身につける。
- B) 博士論文をまとめるために各指導教員の指導のもとに行う講究科目に加え、定期的に研究の進捗状況を発表し、それに対する関連分野の教員からの助言を基に自分の研究内容をより広い観点から自己評価する。
- C) インターンシップ、海外留学などを通して国際的な活動を経験し、国際的な共同研究・開発をするために必要な強いリーダーシップを養う。
- D) 博士論文研究

修了要件

本課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 表3から表9より、修士課程で履修した科目を除いて、計8単位以上を履修すること。本専攻に入学する以前に履修した、本専攻の表3から表8までの科目は、8単位を越えない範囲で本専攻における授業科目の履修により修得したものと認める。
2. 表11に示す講究科目を取得していること。
3. TOEIC, TOEFL, IELTS のいずれかの外国語試験において、専攻規定の水準に達していること。
4. 国際会議での発表や学術論文誌での論文受理など、学外の活動実績を持つこと。
5. 中間発表、予備審査、博士論文審査を経て、最終試験に合格すること。

表 1 1 計算工学専攻 博士後期課程研究科目群

分類	申告番号	区分	授 業 科 目	単位数	学期	学習内容	備 考
講 究 科 目	76801	◎	計算工学講究第五	2-0-0	前	B)	博士後期課程(1)
	76802	◎	計算工学講究第六	2-0-0	後	B)	博士後期課程(1)
	76803	◎	計算工学講究第七	2-0-0	前	B)	博士後期課程(2)
	76804	◎	計算工学講究第八	2-0-0	後	B)	博士後期課程(2)
	76805	◎	計算工学講究第九	2-0-0	前	B)	博士後期課程(3)
	76806	◎	計算工学講究第十	2-0-0	後	B)	博士後期課程(3)

(注) 1) ◎印を付してある授業科目は、必ず履修しておかなければならない授業科目で、備考欄の(1)、(2)などは履修年次を示す。

博士論文研究

博士論文研究では、問題解決力に加えて、問題設定能力を培い、さらに英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。これらは学修成果の設定と評価の過程で修得する。学期毎の標準的な博士論文研究の流れは以下のようになる。

- 1 学期:博士論文研究のオリエンテーションと学修目標の設定
- 2 学期:研究計画の立案・発表・評価
- 3 学期:中間発表・中間評価
- 4 学期:学修成果評価
- 5 学期:予備審査
- 6 学期:学位申請, 論文提出・発表, 最終試験

3 年間を通して、定期的に研究の進捗発表をおこない、中間的な評価およびプレゼンテーションの技術を身に付ける。また、3 学期におこなう中間発表は、専攻全体で開催し、幅広い専門分野の発表を聞く機会とともに、他分野の聴衆に対して自分の研究をプレゼンテーションする機会を設ける。また、海外への短期留学やインターンへの参加を促す。

[教授要目]

76001

計算機アーキテクチャ特論 (Advanced Computer Architectures)

後学期 2-0-0 吉瀬 謙二 准教授

パソコン, ワークステーション, 携帯情報機器など計算機のダウンサイジング, パーソナル化に大きな役割を果たしているマイクロプロセッサについて, その動向と先端技術について講義を行う。また, 演習を実施することでマイクロプロセッサ技術を習得する。

76003

プログラム理論 (Mathematical Theory of Programs)

前学期 2-0-0 小林 隆志 准教授

プログラミング言語の様々な意味定義手法について学び, プログラムの仕様記述や検証, 合成, 変換などの原理とその実際的な応用について理解することにより, プログラミング言語の形式的な取り扱いを習得する。

76004

情報の組織化と検索 (Information Organization and Retrieval)

後学期 2-0-0 藤井 敦 准教授

Webなどに存在する大規模なデータを利活用するための情報組織化と情報検索について基礎的な概念および技術を学ぶ。

76005

フォールトトレラントシステム論 (Fault Tolerant Systems)

後学期 2-0-0 米田 友洋 連携教授

システムの故障が及ぼす影響を阻止し, 高い信頼性を持つフォールトトレラントシステムを実現するために, システム構成と回復, 誤り検出, 分散システムのフォールトトレランス, テスト生成, 検証等の技術について詳論する。

76006

Concurrent System Theory (並行システム論)

英語講義

Spring Semester (2-0-0) Prof. Naoki Yonezaki

In this course, concepts and techniques for formalizing concurrent systems are introduced. Fundamental algebraic and logical approaches are described. We also used the formalism to analyze and verify properties of concurrent systems. Concurrency, Process algebra, trace, Bi-simulation, Co-induction, Observational congruence, CSP, CCS, π -calculus, Process logic, Dynamic logic.

76007

Software Design Methodology (ソフトウェア設計論)

奇数年度日本語講義、偶数年度英語講義

Autumn Semester, Even year (2-0-0) Prof. Motoshi Saeki

In this course, you learn the techniques on requirements engineering such as goal-oriented requirements analysis and software design, e.g. object-oriented design methods, and practice them through small development case studies.

後学期 2-0-0 佐伯 元司 教授

ゴール指向分析法などの要求工学手法やオブジェクト指向ソフトウェア設計法についてその手法, 特徴などを理解する。実際にこれらの手法に基づいて, 小規模な例題プログラムの分析/設計を行い, 各自がその結果を発表し, 比較, 議論する。

76053

Complex Networks (複雑ネットワーク)

奇数年度開講, 英語講義

義

Autumn Semester, Odd year (2-0-0) Assoc. Prof. Tsuyoshi Murata

Basic knowledge for analyzing network data is introduced. Topics include metrics of networks, common properties of real networks, algorithms for processing networks, models of networks, visualization of networks, and tools for analyzing networks.

76009

マルチメディア情報処理論 (Multi-media Information Processing)

後学期 2-0-0 亀井 宏行 教授

画像生成・処理のための信号処理技法, 特徴抽出手法, マッチング手法等について論ずる事から始め, 文書, 地理情報処理などを含めた, 最近のマルチメディアの活用事例も紹介する。

76010

Advanced Operating Systems (オペレーティングシステム特論) 英語開講

Autumn Semester (2-0-0) Assoc.Prof. Takuo Watanabe

The objective of this course is to introduce the state of the art in operating systems and related technologies. Topics are chosen from Distributed Operating Systems, Realtime Operating Systems, Embedded Systems, System-Level Security Mechanisms, Virtual Execution Environment, System Description Languages, Formal Approaches to System Software, and so on.

76012

自然言語処理特論 (Natural Language Processing)

後学期 2-0-0 徳永 健伸 教授

言語を記号の計算システムとして捉える考え方に基づき, コンピュータによって言語を扱うための基礎的な概念や技術について学ぶ。

76013

Pattern Information Processing (パターン情報処理)

偶数年度開講, 英語講義

Spring Semester, Even year (2-0-0) Assoc. Prof. Masashi Sugiyama

Inferring an underlying input-output dependency from input and output examples is called supervised learning. This course focuses on a statistical approach to supervised learning and introduces its basic concepts as well as state-of-the-art techniques.

76033

Advanced Data Analysis (データ解析特論)

奇数年度開講, 英語講義

Spring Semester, Odd year (2-0-0) Assoc. Prof. Masashi Sugiyama

The objective of this course is to introduce basic ideas and practical methods of discovering useful structure hidden in the data.

76015

Distributed Algorithms (分散アルゴリズム論)

英語講義

Autumn Semester (2-0-0) Prof. Takehiro Tokuda

The objective is for students to understand design principles of concurrent/distributed algorithms and their applications to computing environments

76016

Logic and Software (ソフトウェア論理学)

奇数年度日本語・英語講義 (別クラスで開講)

Spring Semester, Odd year (2-0-0) Assoc. Prof. Shinya Nisizaki

Proofs in formal logic can be regarded as programs. This course will introduce mathematical logic as a fundamental theory of programs. Several formal systems in logic are explained from the viewpoint of computer science.

前学期 2-0-0 西崎 真也 准教授

偶数年度日本語講義

論理による証明は, 情報を伝達, 構成するプロセスと見なすことができる。このよう考え方とその応用について習得すると同時に, ソフトウェアの分野に特有の様々な論理体系について理解することを目的とする。

76017

Machine Learning (機械学習)

偶数年度開講, 英語講義

Autumn Semester, Even year (2-0-0) Assoc. Prof. Tsuyoshi Murata

This course introduces machine learning concepts as well as practical advice on applying machine learning tools and techniques in real-world data mining situations.

76018

コンピュータグラフィックス (Computer Graphics)

前学期 2-0-0 齋藤 豪 連携准教授

デジタル画像処理で用いられる信号処理の理論、色空間の定義について学んだ後、コンピュータによる映像・画像生成の技法について学ぶ。また関連する画像符号化についても紹介する。

76019

Advanced Coding Theory (符号理論特論)

奇数年度英語講義、偶数年度日本語講義

Spring Semester, Odd year (2-0-0) Lecturer Haruhiko Kaneko

The objective of this course is to introduce an application of coding theory to digital systems, and to give how to design excellent codes to improve computer system reliability.

前学期 2-0-0 金子 晴彦 講師

符号理論の計算機への応用の現状と実用的な符号設計理論について講義する。計算機システムにおける故障、誤りの傾向をもとに、プロセッサシステム、高速半導体メモリシステム、磁気/光ディスクメモリシステム、テープメモリシステムを指向した符号の設計理論を詳述する。

76022

推論機構特論 (Machine Inference)

後学期 2-0-0 佐藤 泰介 教授

理推論の基礎として述語論理の完全性定理／不完全性定理について解説し、項書換えなど演繹的計算体系の手法を学ぶ。続けて確率的推論の基礎としてベイジアンネットについて講義する。

76024

ソフトウェア工学特論 (Advanced Software Engineering)

前学期 2-0-0 権藤 克彦 教授

ソフトウェアの生産性を向上させる工学的手法のうち、下流(コーディング、保守、テスト、デバッグなど)に焦点をあてて概説する。

76025

Human Interfaces (ヒューマンインタフェース)

偶数年度開講、英語講義

Spring Semester, Even year (2-0-0) Assoc.Prof. Koichi Shinoda

This course aims to discuss man-machine interface design and its evaluation techniques. Topics include multimodal interface, cognitive engineering, ergonomics, and modeling of human information processing.

76027

Speech Information Processing (音声情報処理特論)

奇数年度開講、英語講義

Spring Semester, Odd year (2-0-0) Assoc.Prof. Koichi Shinoda

This course aims to discuss various issues related to speech information processing.

76029

Advanced Data Engineering (データ工学特論)

英語講義

Autumn Semester (2-0-0) Prof. Haruo Yokota

The data engineering is an active research area for manipulating a large amount of persistent data sophisticatedly, such as processing databases. This class focuses on advanced approaches for the mechanism, algorithm and architecture in data engineering. Topics include transaction models, data warehousing, OLAP, indexing methods, parallel database operations, data replication, failure recovery, storage systems, workflow management system, XML databases.

76031

情報セキュリティ特論 (Advanced Information Security)

後学期 2-0-0 工藤 道治 講師(非常勤)・吉濱 佐知子 講師(非常勤)

渡邊 裕治 講師(非常勤)

情報セキュリティは領域が広く、どこか一部だけでも弱い点があるとそこが破られる。したがって、情報セキュリティを確保するためには、幅広いセキュリティ知識が必要である。この講義では特定のエリアに固執することなく、必要な知識をバランス良くカバーすることを目標とする。

76043

バイオインフォマティクス (Bioinformatics)

前学期 2-0-0 秋山 泰 教授

生命を情報システムとして捉えるバイオインフォマティクスの分野を概観する。膨大で多様なデータから意味を抽出するために、様々な数理的技法が融合的に応用される様子を紹介し、情報工学の社会的な応用の実例を学ぶ。

76049

データストリーム処理特論(Data Stream Management System)

後学期 2-0-0 鈴村 豊太郎 客員准教授

データストリーム管理システムのシステム例, アプリケーション事例, スケジューリング技術プログラミングモデル等を学ぶ。

76047

IT実践英語プレゼンテーション

(English Writing and Presentation Skills for the Graduate Students of Information Technology)

前学期 2-0-0 小張 敬之 講師(非常勤)

情報工学や計算機科学分野での英作文能力や英語口頭発表能力のブラッシュアップを図る。

76052

形式システムバイオロジ(Formal System Biology)

後学期 2-0-0 米崎 直樹 教授 他

生体内の現象の理解には、適切な抽象レベルを設定し、そのレベルでの現象を説明する計算論的な枠組みが必要である。ここでは形式システムとしての生命の理解の方法について講ずる。代数的なモデル化や並行計算としての捉え方、論理的な方法等のいわゆる形式システムをもとにした解析手法をパスウェイ解析等に用いる手法を解説する。

76038

ソフトウェアプロジェクトマネジメントと品質管理

(Software Project Management and Quality Control)

後学期 2-0-0 未定

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76044

ソフトウェア開発演習(Software Development Laboratory)

前学期 0-2-0 渡部 卓雄 准教授・吉瀬 謙二 准教授

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76050

ソフトウェアテスト演習(Software Testing)

後学期 0-2-0 服部 哲 講師(非常勤)

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76037

システム検証基礎演習(System Verification Practices)

後学期 0-2-0 未定 西崎 真也 准教授 他

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76035

システム開発プロジェクト基礎(System Development Studio Projects; Basic)

前学期 0-0-2 田中 康 特任准教授・権藤 克彦 教授

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76036

システム開発プロジェクト・クラウド応用(System Development Studio Projects; Cloud Computing)

後学期 0-0-2 田中 康 特任准教授・権藤 克彦 教授

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76054

ソフトウェア開発先端技術演習I(Advanced Technologies in Software Development I) 奇数年度開講

前学期(集中講義) 0-2-0 田辺 良則 講師(非常勤)・早水 公二 講師(非常勤)

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76055

ソフトウェア開発先端技術演習II(Advanced Technologies in Software Development II) 偶数年度開講

前学期(集中講義) 0-2-0 未定

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

76058

クラウドアプリケーション開発演習 (Cloud-Based Application Development)

前学期 1-1-0 未定

IT特別教育研究コースの教授要目を参照のこと。

75015

計算量理論 (Computational Complexity Theory)

後学期 2-0-0 渡辺 治 教授

数理・計算科学専攻の教授要目を参照のこと。

75001

計算機支援数理 (Mathematical Models and Computer Science)

後学期 2-0-0 山下 真 准教授・笹島 和幸 教授・天谷 賢治 教授

数理・計算科学専攻の教授要目を参照のこと。

75003

ハイパフォーマンスコンピューティング (High Performance Computing)

後学期 2-0-0 松岡 聡 教授

数理・計算科学専攻の教授要目を参照のこと。

77016

広領域知識ベース特論 (Theory & Applications of Wide Areal Knowledge-Base)

後学期 2-0-0 大佛 俊泰 教授

情報環境学専攻の教授要目を参照のこと。

75102

インターネットインフラ特論

前学期 2-0-0 太田 昌孝 講師

情報環境学専攻の教授要目を参照のこと。

75103

インターネット応用特論

後学期 2-0-0 太田 昌孝 講師

情報環境学専攻の教授要目を参照のこと。

76711~76712

計算工学特別実験第一	前学期	0-0-2	} 各教員	76711
同 第二	後学期	0-0-2		76712

専攻しようとする分野に関連のある高度の実験を行うものである。

76701~76704

計算工学講究第一	前学期	1単位	} 指導教員	76701
同 第二	後学期	1 "		76702
同 第三	前学期	1 "		76703
同 第四	後学期	1 "		76704

76801~76806

計算工学講究第五	前学期	2単位	} 指導教員	76801
同 第六	後学期	2 "		76802
同 第七	前学期	2 "		76803
同 第八	後学期	2 "		76804
同 第九	前学期	2 "		76805
同 第十	後学期	2 "		76806

専攻しようとする分野に関連ある専門書、文献につき輪読、討論を行うものである。

76039~76042

情報理工学インターンシップ 1 A	前学期	0-0-1	} 専攻長	76039
同 2 A	前学期	0-0-2		76040
同 1 B	後学期	0-0-1		76041
同 2 B	後学期	0-0-2		76042

(Internship on Information Science & Engineering 1A, 2A, 1B, 2B)

企業や外部の研究組織へ一定期間行き、情報理工学に関するインターンシップを行う。インターンシップ先については専攻長に相談のこと。